

# 飛騨市新型コロナウイルス感染症対策

## (第12弾)

市では、毎週開催している新型コロナウイルス対策本部会議において、各分野の事業所や市民の皆様への丁寧な聞き取り等をもとに議論を重ねています。その中で、市民生活や経済活動に様々な影響が生じていることから、第12弾目となる支援策を取りまとめました。

## 1. 市内の状況と課題

### 【感染状況】

- デルタ株の影響による第5波は8月をピークに終息へ向かい、9月30日をもって全ての都道府県の緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域の指定が解除されました。
- それに伴い、ワクチン接種歴及びPCR検査等の検査結果を基に、個人が他者に二次感染させるリスクが低いことを示し、行動制限を段階的に緩和する“ワクチン・検査パッケージ”の実証実験が国により全国複数箇所で開催されました。
- 岐阜県では、自宅療養者がゼロになり、県内全体の感染者数及び医療ひっ迫度は抑えられてきているものの新規感染者数の減少スピードは鈍く、一部の市町では外国人県民の占める割合が大きい状況です。
- 市内では9月18日を最後に新規感染者の発生は確認されておらず、更にワクチンの2回接種完了者の割合は10月12日現在で89.8%と、県内でも非常に高い割合を誇っています。
- しかし、感染者の中には、ワクチンを接種したとしても感染が生じる“ブレイクスルー感染”（ワクチン接種後の感染）が一定程度生じており、これは市内でも例外ではありません。これにより接種者本人の重症化リスクは抑えられる一方で、本人が感染しワクチンを接種されていない他者への二次感染の恐れがあります。

### 【経済状況】

- 市内では、製造業などは半導体不足の影響はあるものの大きな落ち込みはほぼ無くなっている一方、飲食業、酒小売業、観光小売業、交通業、サービス業では、緊急事態宣言による人流抑制により売上げへの影響は大きく、今後の年末年始商戦に向けた消費喚起策を期待する声が多い状況です。
- 宿泊業は、緊急事態宣言中も一定程度のビジネス需要は残り、また、10月以降には観光客の予約が徐々に入っている宿もある一方、繁忙期である合宿シーズンを逃し影響が大きい宿もあるなど状況は様々です。

## 2. 対策の考え方

- 市では、ワクチンを接種したとしても一定程度の感染があること、また、今後の国のワクチン・検査パッケージへの対応を見据え、現在開設している飛騨市新型コロナまちなか簡易検査センターを更に拡充し、**誰もがいつでも簡単に検査を受けられる体制を整備**します。
- 経済の面では、全国にもまれな充実した検査体制を強みとして、**飛騨市版のワクチン・検査パッケージである「飛騨市あんな検査パッケージ」**を掲げ、アフター第5波の観光需要の取り込みを図るとともに、年末年始を見据えた強力な経済循環策への検査技術の活用を進めます。
- こうした対策に**予備費から約5千万円を充用**し、感染対策と経済循環の両立を図ります。

## 3. 支援・対策内容

### I 新型コロナウイルス感染拡大防止体制の強化

#### ① **【拡充】飛騨市新型コロナまちなか簡易検査センターの体制強化**

(予算：7,000千円)

抗原定性検査キットを活用した「まちなか簡易検査センター」の開設日を週3日から毎日に大幅拡大し、開設時間も夕方枠を追加するとともに、対象者に在学・在園者を追加し、開設期間を12月28日(火)まで延長します。更に、利用者の利便性を高めるため、**場所を市役所駐車場に移転**します。

#### ② **【継続】無症状PCR検査費用助成の期間延長**

(予算：9,000千円)

迅速PCR検査等機器を配備した市内医療機関における無症状者の検査費用助成（自己負担3,000円）及び市内医療機関から外部検査機関へ委託するPCR検査費用助成（自己負担10,000円）の期間を、12月28日(火)まで延長します。

#### ③ **【継続】集会施設等におけるCO2センサー購入助成の期間延長**

(予算：既決予算で対応)

地区有集会施設等における室内の換気が十分かどうかを視覚的に確認できる二酸化炭素濃度測定器（CO2センサー）の購入費用助成制度（補助率10/10・上限10,000円）を令和4年3月31日(木)まで延長します。

## II 不屈の精神で立ち上がる事業者への支援

### ④ 【新規】“おでかけ”飛騨市まるごと応援セールin富山の開催

(予算：940千円)

観光土産品需要の減少に苦しむ市内事業者を支援し、市特産品等の販売機会の創出を図るため、**10月23・24日に富山市内の大型商業施設（フューチャーシティ ファボーレ）において観光物産展を開催**します。

### ⑤ 【継続】コロナウイルス対応販促事業補助制度等の復活

(予算：5,000千円)

市内事業者によるチラシやネットを使った広告、テイクアウト用消耗品やCO2センサー等の購入、また、市外における物販イベント出店等を支援する補助制度を12月28日(火)まで限定復活し、年末年始需要を取り込む事業者を強力に支援します。

## III 市内需要喚起による事業者への支援

### ⑥ 【新規】OTAを活用した宿泊割引キャンペーンの実施

(予算：14,000千円)

今後の観光需要の高まりを見越してOTAを活用した総額1千万円の宿泊割引クーポンを配布し、抗原検査キットの活用や市観光協会等による各種クーポン事業との相乗効果により、安全・安心でお得な飛騨への旅の需要喚起を図ります。

### ⑦ 【新規】安心・安全ビジネス宿泊応援キャンペーンの実施

(予算：3,000千円)

コロナ禍にあって大会・合宿等の大口宿泊需要が制約を受ける中、こうした合宿等に特化した宿泊施設においても、ビジネスにおける宿泊需要を確実に取り込んでいくため、**市内宿泊施設に出張等で宿泊された際の宿泊料を1泊につき1,000円割引**くビジネス宿泊応援キャンペーンを実施します。

### ⑧ 【新規】市観光協会による地域消費促進クーポン発行の支援

(予算：5,000千円)

売上の減少が著しい市内観光関連事業者の需要拡大と地域経済回復のため、市観光協会を主体として**市内に宿泊する観光客を対象に市内の登録店舗等で利用できる最大3,000円クーポン券の発行**を支援し、市内での滞在時間の延伸と消費拡大を促進します。

### ⑨ 【新規】ご好評につき第2弾！ Go to Skiキャンペーンの実施

(予算：3,000千円)

最高の雪質を誇る市内スキー場の魅力を満喫し、市内のお宿での温かなおもてなしを楽しんでいただけよう、昨シーズンに続き、**市内宿泊施設に宿泊し市内スキー場を利用される方に対し、1泊につき1日券の半額相当を助成**するお得なスキー・スノーボード誘客促進キャンペーンを実施します。

⑩ **【新規】お出かけ限定！飛騨市いきいきタクシー券の発行**

(予算：4,900千円)

高齢者の通院・買い物のお出かけ手段としての利用促進策として、**高齢者等のタクシー利用に限定した「いきいき券」を3,000円分追加交付**することで、コロナの影響によるタクシー需要の減少を支えるとともに、コロナ禍でも生活に必要な外出ができる環境を整えます。

⑪ **【継続】地域活動促進費用助成の期間延長**

(予算：既決予算で対応)

コロナ禍でも活発な地域活動を促進するため、区や公民館が地域の方を対象とする親睦を促進する事業や懇親会等に対し費用の一部を支援する地域活動支援補助制度（補助率1/2・上限10万円）の期間を令和4年3月31日(木)まで延長します。

## 4. 現在検討している施策

**【経済対策】**

- 年未年始の需要拡大を見据え、市内の飲食・タクシー業及び小売・サービス業等の需要喚起策を検討しており、その手法としては、早期な事業実施が可能であることや事業実施中でも迅速に進捗確認が可能であることから、「さるぼぼコイン」の活用を想定しています。
- あわせて、キャッシュレス決済の導入促進を図る観点から、今回に限り決済手数料を支援することも検討しており、こうした経済対策を11月中旬には取りまとめ、発表したいと考えています。

※ 本資料に記載した施策は、市内の影響や国や県の今後の動向により、開始時期の変更や期間の延長等を検討します

<担当課> 企画部 総合政策課 (担当) 土田 TEL: 0577-73-6558 (直通)